

News Release

JA共済連におけるESG投資の実施について ～「ニュートリション・ボンド」(栄養改善支援債)への投資～

JA共済連(全国共済農業協同組合連合会、代表理事理事長 柳井二三夫)は、「事業活動の積極的な取組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献する」ことをJA共済事業の使命の一つに掲げております。

資金運用においても、取り巻く環境変化を踏まえ、安定的な収益の確保を基本とするなかで、国内外問わずSDGs達成に資するESG投資の拡大に取り組んでいることから、今回、アンデス開発公社(以下、CAFという)が発行する債券「ニュートリション・ボンド(栄養改善支援債)」への投資を決定しましたのでお知らせします。

<本債券の概要>

債券名	ニュートリション・ボンド(栄養改善支援債)
発行体	アンデス開発公社
発行額	200億円
償還期間	7年

JA共済連は、今後も地域社会を構成する一員として、JA共済の事業活動を通じSDGsが目指す社会の実現に貢献してまいります。

以上

【参考】

<本債券の特徴>

本債券の発行体であるCAFは、国際協定に基づき中南米の関係各国等が出資して設立された国際開発銀行であり、主に政府、公的機関、企業等に貸付や保証等の金融事業や金融関連サービスを提供しています。

本債券は、CAFが初めて発行するニュートリション・ボンドであり、本債券により調達した資金は、関係国の政府等を通じて、幼児期の慢性栄養失調の解消、子どもや妊婦、障がい者への食料購入補助プログラム等、人々の栄養状況の改善や健康不安の解消に向けた施策等に活用されることとなり、SDGsの「1. 貧困をなくそう」「2. 飢餓をゼロに」「3. すべての人に健康と福祉を」等の目標達成につながるものです。

<過去に実施したESG投資>

債券名	発行体	発行額	償還期間
神戸市SDGs債	神戸市	総額 250 億円	30 年